

千葉市科学館連携講座：

「科学実験教室とサイエンスショー」を実施しました

実施日：令和4年1月10日（月）

理数科1年次生の希望者を対象（参加生徒14名）として、千葉市科学館に来場する児童生徒（主に小学生以下）に簡単な科学実験を体験してもらうことを目的とし、生徒が講師として実験を実施運営した。今年度も千葉市科学館高校生無料開放日に合わせて行われ、本校理数科1年次生による「プラ板・スライム」製作と物理化学部の生徒（参加生徒7名）による「光と色のサイエンスショー」の実験を行った。サイエンスショーではペロウソフ・ジャボチンスキーの頭文字をとったBZ反応と呼ばれる酸化還元反応による色の変化、血痕の鑑識に用いられるルミノール反応、手回し発電機による豆電球とLEDの発光の違いを小さな子ども相手に体験してもらうことができた。なお、今年度は新型コロナの影響により、参加人数、開催時間、実験内容を一部縮小して感染症対策を念入りに行った。

実施にあたり、千葉市科学館 井上厚行 館長から事前に講座内容に関する大学レベルの話も含んだ講義を受ける機会も設けました。また、授業ではなかなか体験できない、小さな子ども相手に行う実験の演示や指導など貴重な体験の機会となった。なお、本校生徒は千葉市科学館から「ボランティア証」を頂いた。



プラ板製作



スライム製作



光と色のサイエンスショー